

「メガネを作る人には国家資格が必要」

…と、82%の人が答えています。

資格制度は
必要ない

18%

国家資格が必要

82%

※財団法人 日本消費者協会による
「メガネについてのアンケート調査」
(2010年9月)

メガネをかけている多くの方が「国家資格が必要」と答えています。メガネは視力を保護するための大切な道具です。それだけにより高い信頼性が求められています。

これでは、 心配ではありませんか？

眼鏡技術者に公的資格を与えている国は
世界で40カ国以上にのぼっています。

海外ではメガネの調製に携わるには3年から8年の専門教育を必要としており、アメリカ・カナダの北米諸国、イギリス及びフランス・ドイツなどのヨーロッパ諸国、インド・マレーシア・フィリピン・シンガポールなどの東南アジア諸国、中国・韓国・台湾・香港などの東アジア諸国は、世界オプトメトリー会議(WCO:World Council of Optometry)参加45カ国の多くの国々で専門教育をベースとした公的資格が定められています。



そこで、つくられたのが
公益社団法人 日本眼鏡技術者協会の
「認定眼鏡士®制度」です。

消費者が眼鏡士の技術レベルを判断することができるように、2001年にスタートしたのが日本眼鏡技術者協会の「認定眼鏡士®制度」です。「認定眼鏡士®」は、知識や技術の厳しい審査をパスした人だけに与えられる、メガネ関連では唯一の資格です。



認定眼鏡士登録証



進化するメガネ、 だから3年ごとに資格更新。

新設計のレンズや新素材のフレームが次々と登場しています。またパソコンによる疲れ目やドライアイなど、生活環境や習慣から生じる様々な症状も、眼鏡技術者はいち早く把握しておかねばなりません。従って、認定眼鏡士の資格有効期間は3年間のみ。生涯にわたって教育講座受講の義務が定められており、規定回数を満たさなかった場合は、資格を喪失するという厳しい内容となっています。

「認定眼鏡士®」は、

現在、全国に「認定眼鏡士」の資格者が、安心のネットワークづくりを進めています。あなたにとって、快適なメガネをお作りするために定期的に講習会を受講し、最新の知識と技術レベル向上に務めています。

確かな知識と技術を身につけた
メガネのスペシャリスト
「認定眼鏡士®」。これなら安心。



メガネのスペシャリスト「認定眼鏡士®」、
その目印はこのネームプレートです。

